ライフサイエンス事業の現況に関するQ&A

AGC株式会社

2025年9月29日

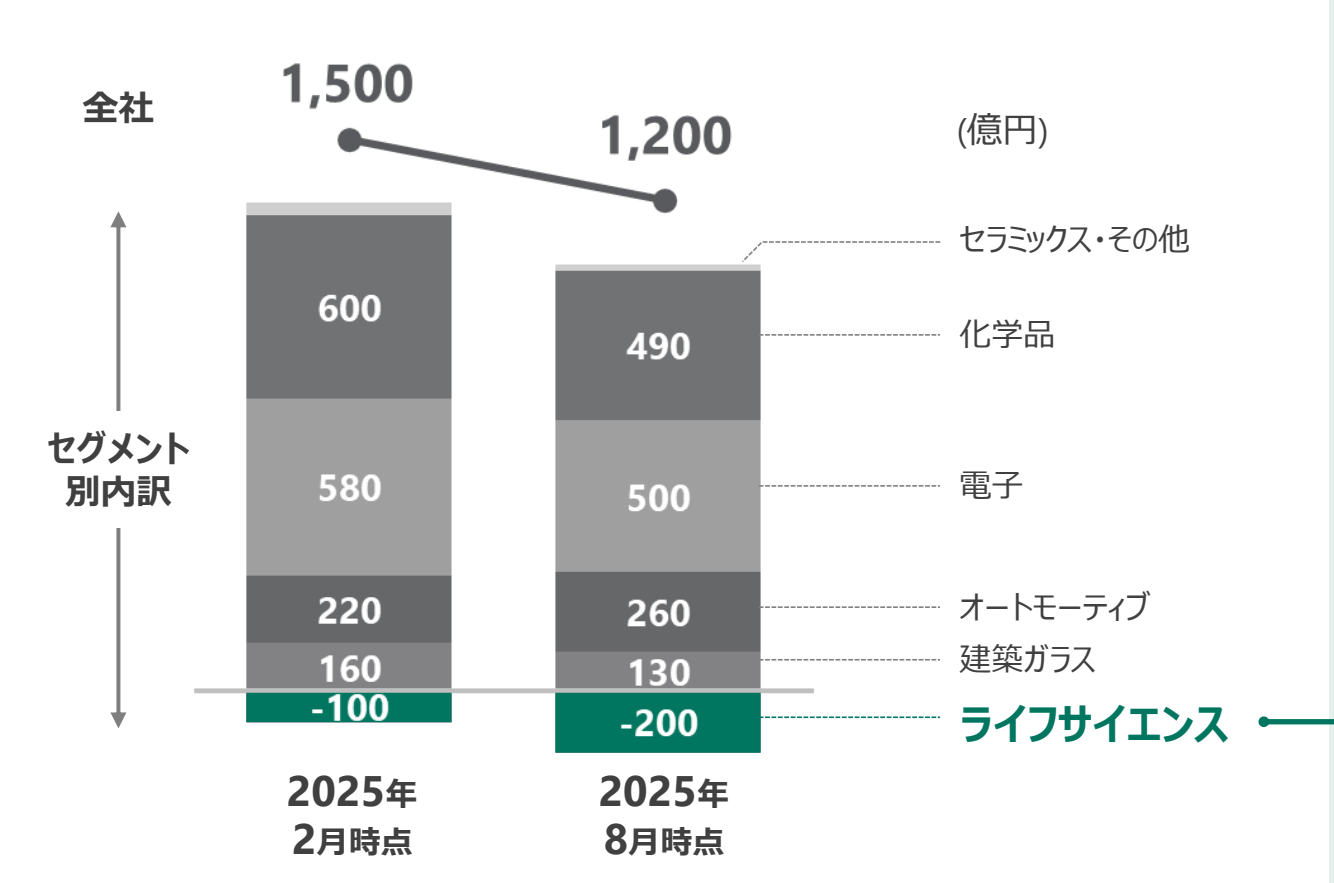
Your Dreams, Our Challenge

2025年 営業利益見通し修正

2025年第2四半期
決算発表説明会資料より

AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ ライフサイエンスは期初想定を下回り、業績予想を下方修正



バイオ医薬品CDMOの
販売数量大幅未達

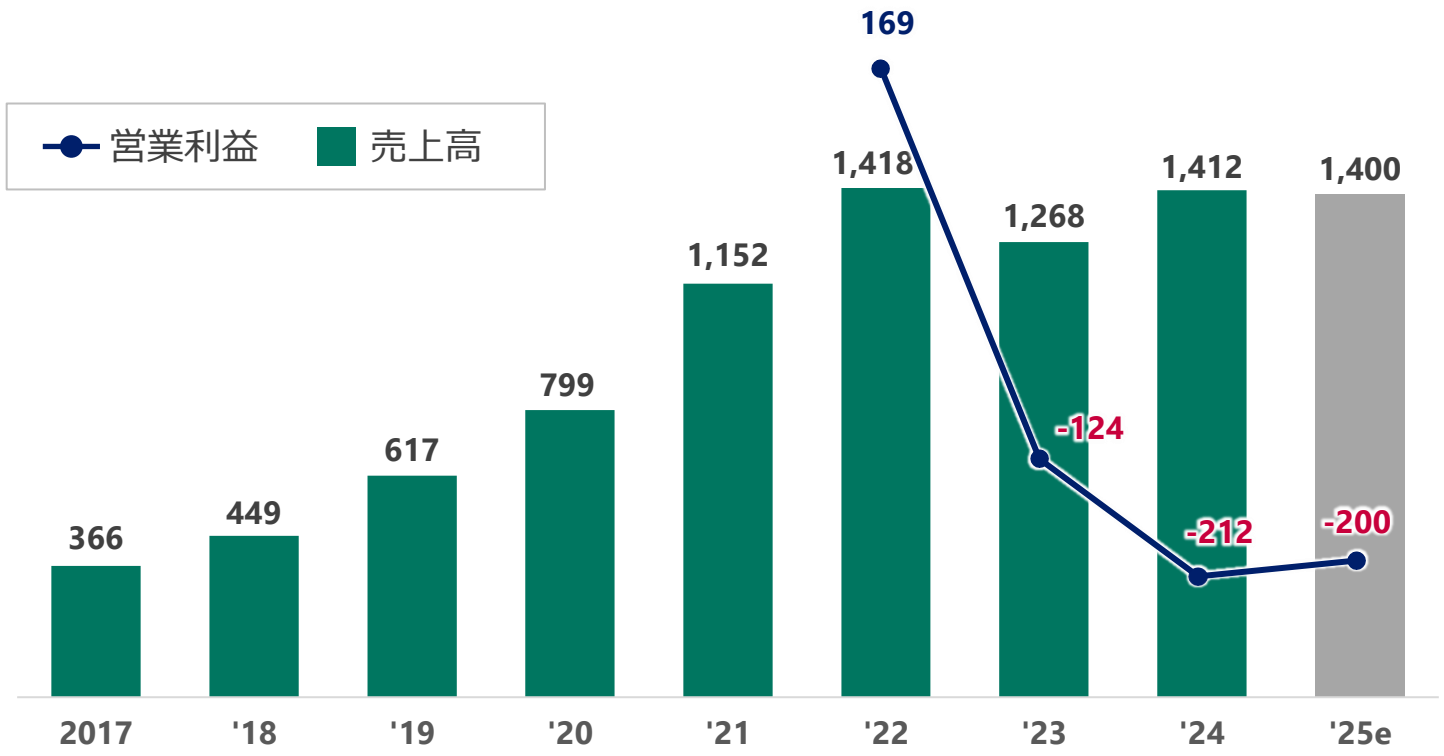
▲100億円

売上高・営業利益の推移

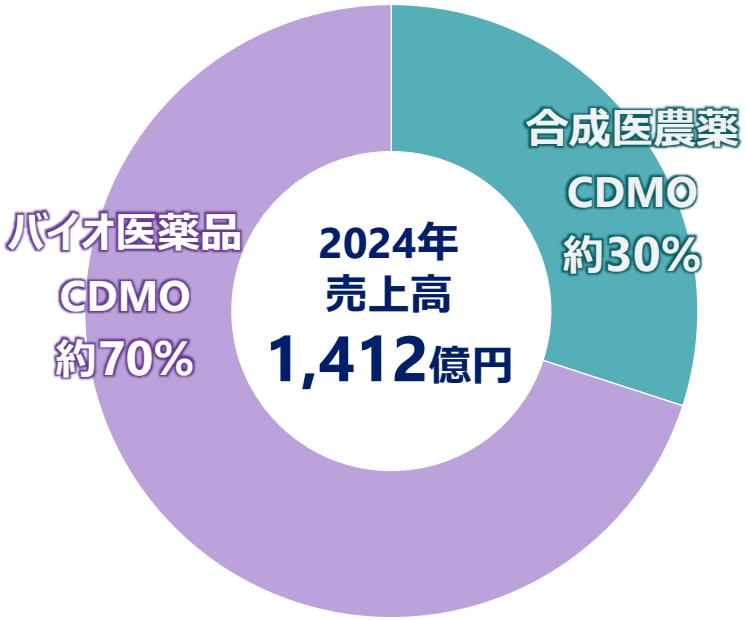
AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ 2016年以降、M&Aにより売上規模は急成長。新型コロナ特需消失などの市場環境の変化に加え、設備の立ち上げ遅延等の内部要因が重なり、23年より収益性が低下。

売上高・営業利益推移（億円）



サービス別売上高構成比



*2021年以前は化学品セグメント内のサブセグメント情報開示（売上高のみ）、2022年以降は独立セグメントベース（2022年は参考値）

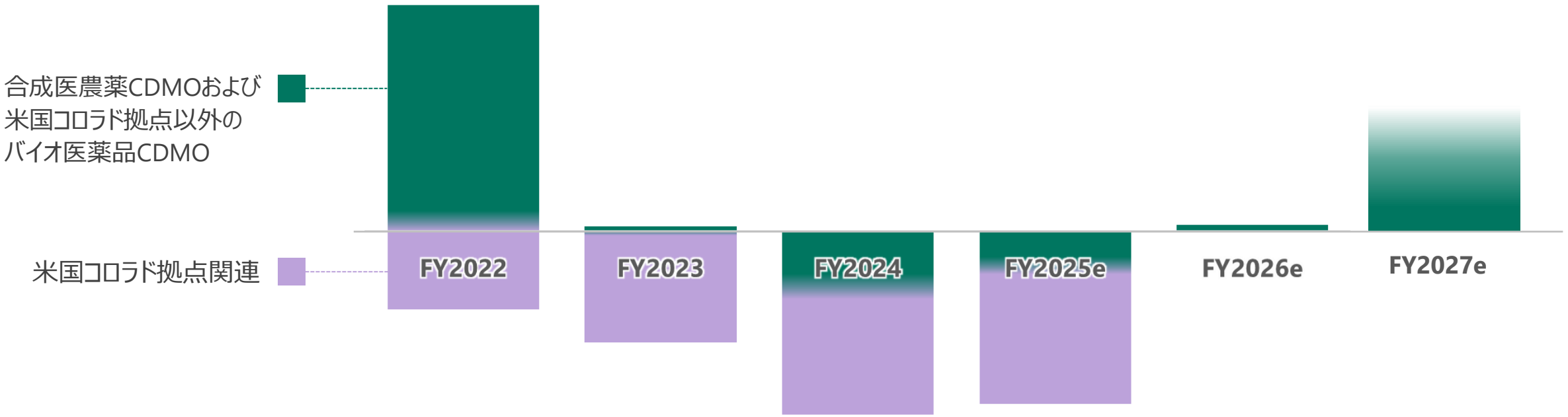
©AGC Inc.

米国コロラド拠点から撤退

AGC
Your Dreams, Our Challenge

- ライフサイエンスの赤字の最大要因であるバイオ医薬品CDMOの米国コロラド拠点（ボルダー及びロングモント）から撤退し、事業譲渡の検討開始
- 2026年には当初計画どおり、ライフサイエンスセグメントの黒字化を目指す

ライフサイエンスセグメントの営業利益見通し



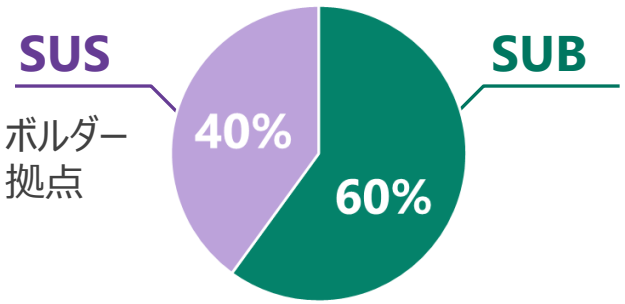
©AGC Inc.

シングルユースバッグ (SUB) に注力

AGC
Your Dreams, Our Challenge

- 大型SUS*1(ボルダー拠点) での生産からは撤退し、強みであるSUB*2での生産に注力する
- SUB技術が適した中小型薬市場は高成長の見通し

当社のSUB/SUSキャパシティ*3

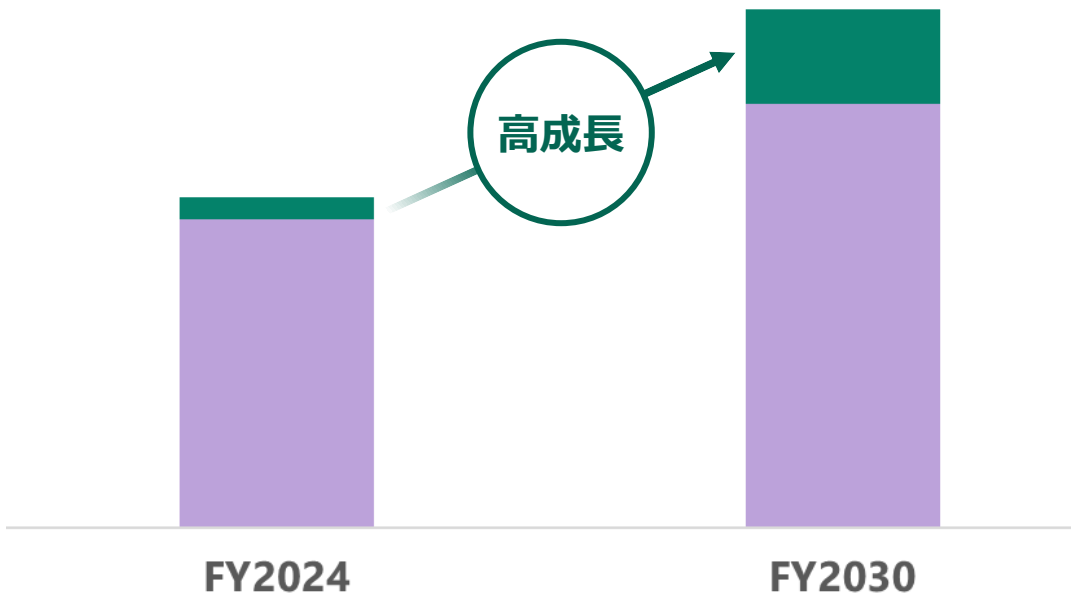


抗体医薬品CDMO市場

対象市場	開発段階 (早期治験)	開発段階 (後期治験)	中小型薬 (希少疾患等)	大型薬 (ブロックバスター・バイオシミラー等)
使用タンクサイズ	500L～2,000L	2,000L～	～20,000L	>20,000L×複数基

SUB技術の最適ゾーン　SUS技術の最適ゾーン

抗体医薬品市場成長率*4



*1 SUS（ステンレススチール培養槽）*2 SUB（シングルユースバッグ培養槽）　*3 2025年6月末時点　*4 EvaluatePharma, Globaldataなどを元に当社推計、商用品のみ。

©AGC Inc.

ライフサイエンスは戦略事業として引き続き育成

2025年第2四半期
決算発表説明会資料より

AGC
Your Dreams, Our Challenge

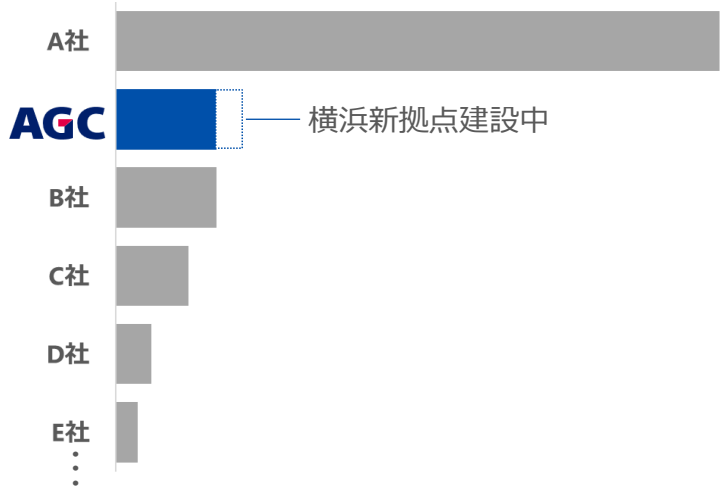
- バイオ医薬品CDMOを含むライフサイエンスは、将来の柱となる戦略事業として育成
- これまで積み上げたAGCの強みを活かし、早期に成長軌道に戻す

AGCの強み

- SUB技術のパイオニア。現在の生産能力はグローバルNo.2グループ
- 欧・米・日3極の体制を持ち、地政学リスクが高まる中で追い風
- 3極での豊富な査察実績あり

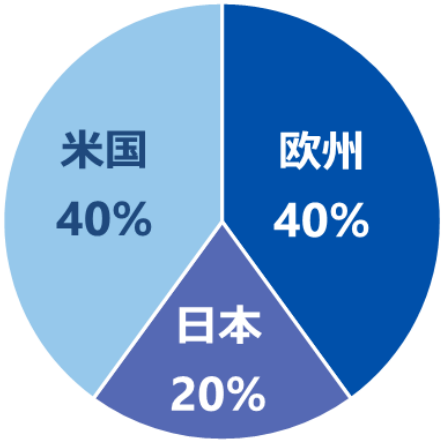
SUBプレーヤーの状況

抗体(動物細胞)：主要競合キャパシティ*1



AGCの地域別キャパシティ*2

500-5,000L SUB培養槽比率



AGCの査察実績

	FDA 米国 食品医薬品局	EMA 欧州 医薬品庁	PMDA 日本 医薬品医療機器 総合機構
シアトル	●	●	●
コペンハーゲン	●	●	●
ハイデルベルグ	●	●	●
ミラノ	●	●	
千葉			●

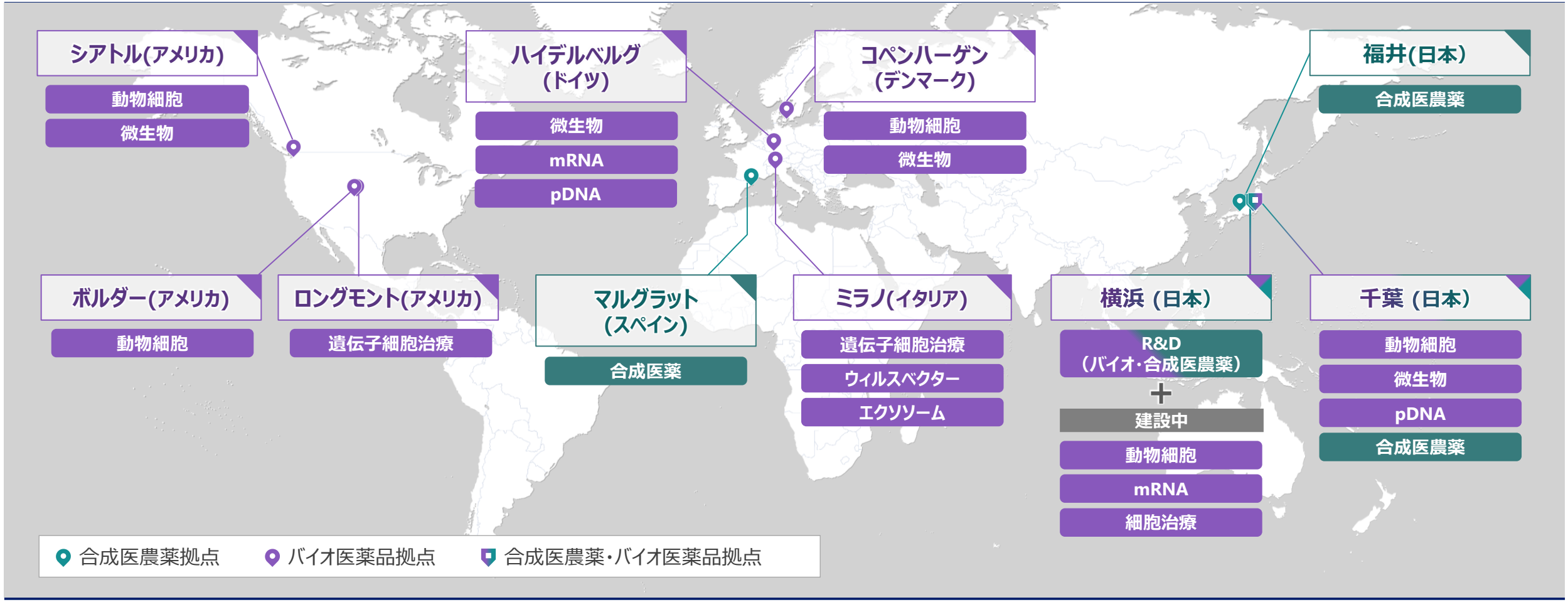
*1　2025年6月末時点　　*2　横浜新拠点稼働後

©AGC Inc.

ライフサイエンス事業のグローバルサービス展開

AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ **日米欧３極**で統合された高度なcGMP体制を構築、
どの地域からも同様に**高水準な開発・製造サービス**を**幅広い分野で提供**



©AGC Inc.

ライフサイエンス事業の歩み

AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ 1973年に研究所内に「ライフサイエンスチーム」を発足、1980年に事業化

1973年　当社フッ素化技術の、医農薬への応用可能性検討を目的とした「ライフサイエンスチーム」を発足

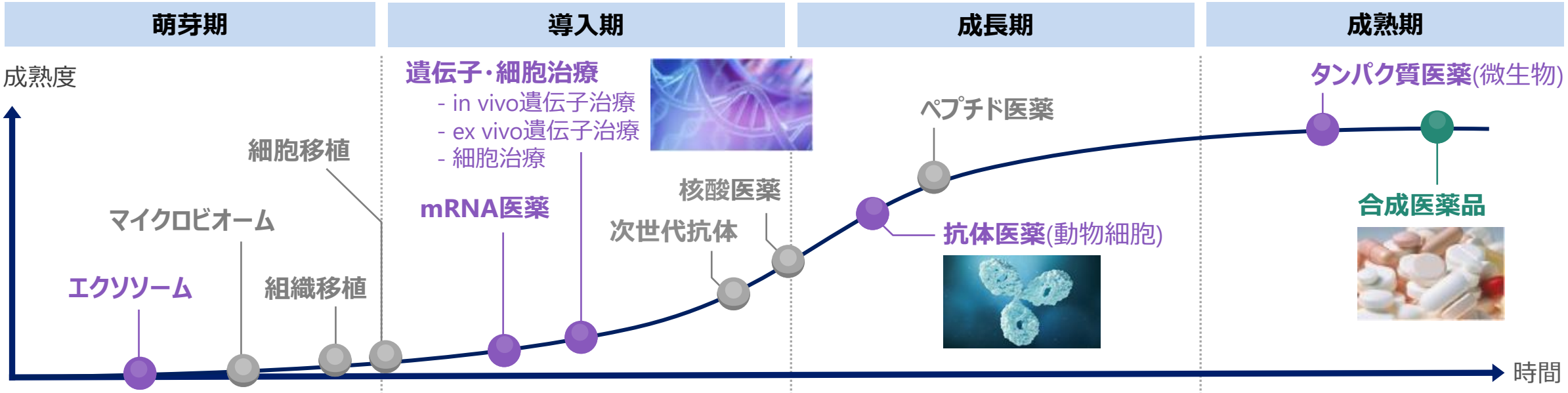
❶ 合成医農薬　開発製造受託 に関する出来事	❷ バイオ医薬品　開発製造受託 に関する出来事
1985 製薬企業向けに抗菌剤用フッ素中間体の受託製造/供給開始	**1984** 医薬品開発にターゲットを絞った「バイオケミカルグループ」を設置
1998 若狭AGCファインケミカル（現AGC若狭化学）設立	**2000** タンパク質受託製造事業に本格参入
2003 千葉工場内にGMP対応の治験薬製造設備完成	**2016** ドイツのバイオ医薬品CDMOを買収（現AGC Biologics ハイデルベルグ拠点）
2008 緑内障治療薬原体「タフルプロスト」の製造販売承認取得	**2017** 欧米に拠点を有するバイオ医薬品CDMOを買収（現AGC Biologics シアトル拠点、コペンハーゲン拠点）
2013 AGC若狭化学が若狭テクノバレー内に上中工場を新設	**2020** 千葉工場に動物細胞設備を新設
2019 スペイン合成医薬品原薬製造工場を買収（現AGCファーマケミカルズ・ヨーロッパ）	**2020** 米国のバイオ医薬品原薬工場を買収　（現AGC Biologics ボルダー拠点）
2019 千葉工場のGMP対応の製造能力を10倍に増強	**2020** イタリアの遺伝子・細胞治療薬CDMOを買収（現AGC Biologics ミラノ拠点）
2022 AGCファーマケミカルズ・ヨーロッパの設備増強	**2021** 米国の遺伝子治療薬工場の買収（現AGC Biologics ロングモント拠点）
2024 AGC若狭化学の上中工場設備を増強	**2023** mRNA CDMOサービス開始（AGCバイオロジクス Biologics ハイデルベルグ拠点）
2025 AGCファーマケミカルズ・ヨーロッパの設備増強	**2024** AGC Biologics コペンハーゲン拠点設備増強

©AGC Inc.

主要サービス | モダリティ

AGC
Your Dreams, Our Challenge

■ 医薬品CDMOについては、モダリティ*と市場成熟度に応じた事業戦略を策定



萌芽期	導入期	成長期	成熟期
■ 有望な新分野の探索・見極めと事業化準備	■ 製造プラットフォームの確立 ■ グローバル3極サービス体制の速やかな構築 ■ 受託実績積上げ	■ Customer Experienceの向上 ■ 積極的な能力増強 ■ 商用品比率の拡大	■ 市場成長見合いの能力増強 ■ オペレーション向上

：当社がサービスを提供している合成医薬品のモダリティ　**：当社がサービスを提供しているバイオ医薬品のモダリティ**

*モダリティ：医薬品の創薬基盤技術の方法・手段の分類を表す用語

参考：Arthur D Little　資料を参考に当社作成

©AGC Inc.

ライフサイエンス事業の設備投資案件

AGC
Your Dreams, Our Challenge

サービス		拠点	設備投資内容	稼働開始予定
バイオ医薬品 CDMO	完成予想図（AGC横浜テクニカルセンター内） 	**横浜**	■ 動物細胞を用いたバイオ医薬品、mRNA医薬品、細胞治療薬の開発・製造能力拡大 ■ 動物細胞培養槽は国内CDMOとしては最大級のスケール*(5,000L×2、2,000L×4) ■ 投資金額 約500億円	**2026年末**
合成医薬 CDMO	 	**スペイン**	■ 合成医薬品の旺盛な需要に対応するため、製造能力を約30%増強 ■ 高薬理活性原薬（HPAPI）の製造に対応した設備を導入 ■ 投資金額 約120億円	**2026年上期**

*当社推計

©AGC Inc.

外部機関からの評価

AGC
Your Dreams, Our Challenge

CDMOリーダーシップアワード2025で4部門受賞

AGC Biologics
- バイオ医薬品（対象地域：グローバル）
- 遺伝子・細胞治療薬（対象地域：グローバル）
- ベスト・クオリティ・マネジメント・システムズ賞

AGC Pharma Chemicals
- ベスト・マニュファクチュアリング・ケイパビリティ賞

EcoVadisのサステナビリティ評価において、高スコアを取得

Platinum
- AGC Pharma Chemicals Europe (スペイン)

Gold
- AGC若狭化学

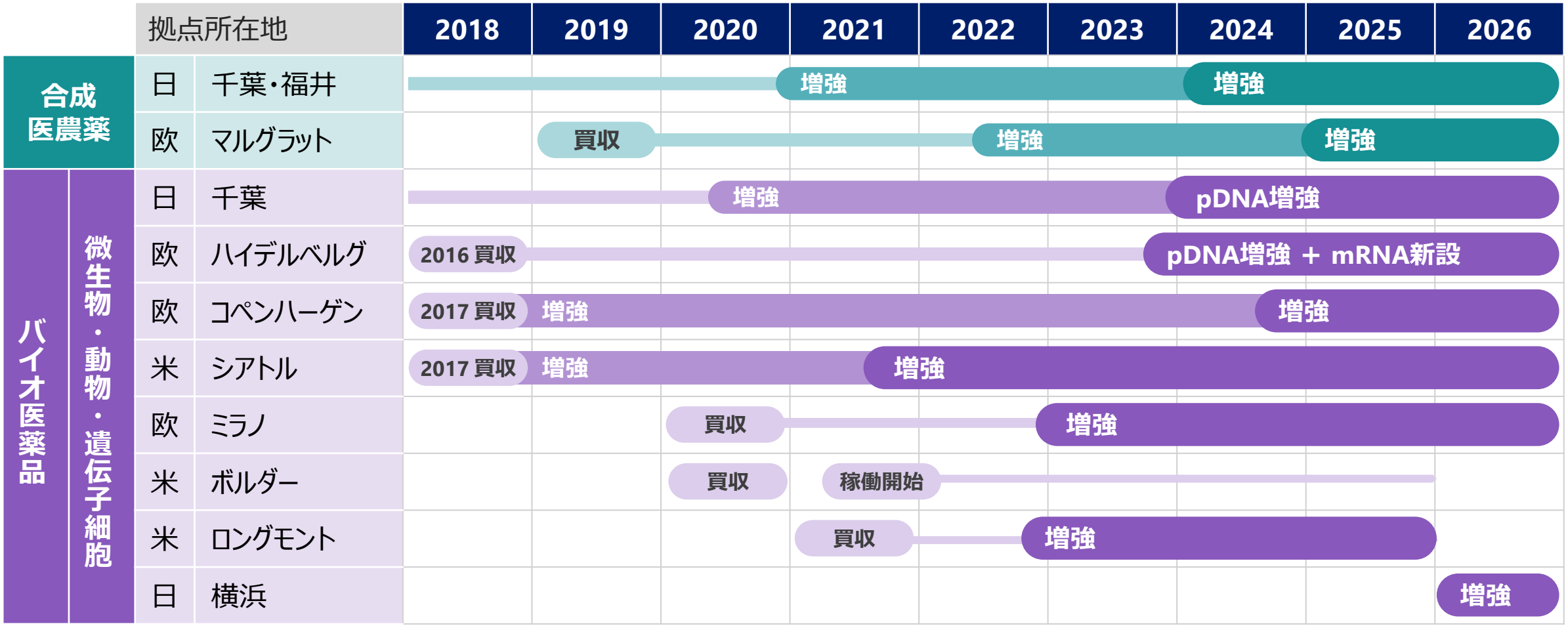
Silver
- AGC Biologics (コペンハーゲン)
- AGC千葉工場

Top Employer 2025 を取得

- AGC Pharma Chemicals Europe（スペイン）

ライフサイエンスセグメントの投資実績

AGC
Your Dreams, Our Challenge



(表記は稼働開始ベース)

©AGC Inc.

ライフサイエンス セグメント

2025年第2四半期
決算発表説明会資料より

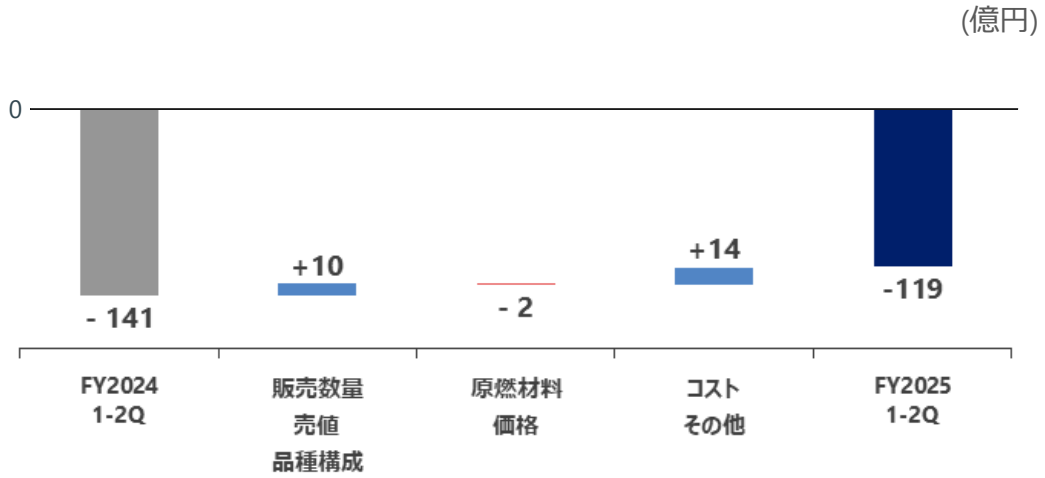
AGC
Your Dreams, Our Challenge

	FY2024 1-2Q累計	FY2025 1-2Q累計	増減
売上高	636	**635**	▲ 1*
ライフサイエンス	616	**617**	+ 0
(セグメント間)	20	**18**	▲ 1
営業利益	▲ 141	**▲ 119**	+ 22

(億円)

* うち、為替差影響は▲9億円、連結範囲変更の影響はなし

営業利益増減要因分析



ライフサイエンス

- 売上高は前年同期並み
- バイオ医薬品CDMOの増設設備稼働による出荷増があったものの、前年同期に計上していた受託案件精算に伴う一時収入の剥落に加え、ボルダー拠点で生産不具合が発生

下期見通し (2025年上期比)

AGC
Your Dreams, Our Challenge

ライフサイエンス

- 合成医農薬CDMOの売上は増加
- バイオ医薬品CDMOは、デンマーク拠点の増収、およびコロラド拠点撤退により赤字幅が縮小

©AGC Inc.

END

AGC

Your Dreams, Our Challenge